



@Libo

小説で読む150年前のヨコハマ p.1

行事/展示/おはなし会 p.2~4

ぐるっとYOKOHAMA図書館めぐり
第5回 泉図書館 p.4

ホームページ
<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/library/>

2009年1月号

祝 小説で読む 150年前の ヨコハマ

開港
150周年

2009年、横浜は開港150周年を迎えます。
開港当時のヨコハマの世界に遊んでみませんか。

『いじん幽霊 完四郎広目手控』 高橋克彦 / 著
集英社 2003



完四郎と仮名垣魯文のコンビが様々な事件を解決していく連作短編集。シリーズ三作目の今作は開港直後の横浜が舞台です。アメリカ彦蔵、下岡蓮杖、ドクトル・ヘボン、福地源一郎といった当時の横浜の有名人が次々に登場します。

『横浜異人街事件帖』 白石一郎 / 著
文藝春秋 2000



開港から三年、外国から多くの異人がやってきた横浜で、元南町奉行所の江戸っ子同心卯之助が日本人街と異人街を駆け回ります。当時の居留地の雰囲気が伝わってくる短編集です。続編に『生きのびる』があります。

『消えた山高帽子 チャールズ・ワーグマンの事件簿』 翔田寛 / 著
東京創元社 2004



1861年に来日し、当時の日本を活写したイギリス人画家ワーグマン。日本人と結婚し、横浜で亡くなった彼の作品は『ワーグマン日本素描集』(岩波文庫)などで見ることができます。このミステリでは、彼が探偵役となって活躍します。

『峠』 司馬遼太郎 / 著
新潮社(新潮文庫) 2003 全3巻



越後長岡藩の家老 河井継之助を描くこの長編小説で、継之助は何度か横浜を訪れて、「恋人を想うがように」日本一新しい都市ヨコハマの価値を思います。横浜が登場する場面はごく一部ですが、急激に発展していく町の姿が描かれています。

『対決 大老 vs. 開国商人』 長尾三郎 / 著
講談社 1992



本町通りに「あかがね御殿」と呼ばれる絢爛豪華な家を立てるほど成功しながら、その生涯の最期がはっきりしない豪商 中居屋重兵衛。彼と大老 井伊直弼との対立を軸に横浜開港の裏面史が語られます。

* まだまだあります。市立図書館をご利用ください *

都市横浜の
記憶

市立図書館のデジタルアーカイブ

- ▷ 幕末～現代までの浮世絵・絵図・歴史地図・絵葉書・本などのデジタル画像を市立図書館ホームページでご覧いただけます。
- ▷ 今日の日付で過去にどんな出来事があったのかを紹介する「きょうの歴史」ページも必見!



開港150周年記念展示「横浜開港前後・浮世絵東海道宿ものがたり-神奈川・保土ヶ谷・戸塚-
(期間) 開催中～1/12(月・祝) (会場) 中央図書館1階展示コーナー
(内容) 開港150周年にあたり、横浜市内の東海道宿が横浜開港で変貌する様子を、中央図書館が所蔵する神奈川・保土ヶ谷・戸塚の各宿の浮世絵で紹介いたします。 < 境木の立場 程ヶ谷 広重(三代) >